

令和元年度（2019年度）学校評価計画書

1. 学校教育目標

人格の完成をめざし、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた、心身ともに健康な国民の育成を期す。

◎校訓 自律 探求 友愛 協調 質実 剛健

②教育目標 **ともに学び、夢をもって未来を切り拓く、たくましい生徒を育てる**

◀めざす生徒像▶

- 学ぶ意欲をもち、目標に向かってすすんで学び合う生徒
- ルールを意味を理解し、正しく判断して行動できる生徒
- 自分を大切にし、互いの違いを認め合い高め合える生徒
- 心と体の健康を大切にし、自他の命を守る力のある生徒

◀めざす学校像▶ ～今日も来てよかったと思える学校、今日も受けたいと思える授業～

- 学ぶ喜びにあふれ、自立の力を育む学校
- 人権を大切にす、笑顔があふれる学校
- 生徒、保護者、地域から信頼される学校

◀めざす教職員像▶

- 全ての生徒に生きる力を育む授業力・指導力ある教職員
- 生徒の心と身体、命を守る危機管理対応力のある教職員
- 確かな人権意識をもって、生徒の人権意識を育む教職員
- チーム招提の一員として仲間とともに学び続ける教職員

2. 学校経営方針

1. 服務規律を確立し、学習指導要領に則った教育を推進して、適正な学校運営を確立します。
2. 一人ひとりを見つめ、個性を生かす教育を推進し、生命及び人権を大切にし、自ら考え、判断し、行動できる、心身共に健康な生徒を育成します。
3. 校内研修の充実及び各種研修講座への積極的な参加により、指導力を向上させます。
4. 研究授業（授業交流）の充実により、授業力を高め、生徒の学力を向上させます。

3. 本年度の取組内容及び自己評価

基本 方策	項目	・本年度の重点目標	○具体的な取組内容 (◆活動指標・成果指標を含める)
自立の力を育む教育の充実	キャリア教育・学習指導	「招提中 目指せ！子どもが主役の授業」の授業づくりの実践研究と、9年間の学びを見通した招提中学校区一貫教育の推進により、全ての生徒の「学びへの意欲」と「確かな学力」を育みます。	<p>○学力向上プランに則り、学力向上部を中心としたPDCAサイクルを活かした組織的な取組により、生徒の「確かな学力」を育みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、考えをしっかりと伝えていたと思う。」という生徒85%以上(H30 84%) ◆「家で、自分で計画を立てて勉強している。」という生徒50%以上(H30 35%) ◆「家で、学校の授業の復習をしている。」という生徒40%以上(H30 37%) ◆「家で、一日30分以上勉強する。」という生徒80%以上(H30 74%) ◆「積極的に授業に参加している」という生徒85%以上(H30 80%) <p>○校区小中一貫教育を推進し、9年間の学びを見通した教育に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆校区合同授業研究会と授業交流会を2回以上開催します。 ◆学力や生活に関わる共通の課題について研修の場を設け、目指す子ども像を共有し、9年間を見通した取組をすすめます。 <p>○「生きる力」の育成を意図した教育、キャリア教育、進路学習の充実により、希望する進路実現に向けて主体的に考え、取り組む生徒を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1年生の職業講話、2年生の職業体験を通じて働く事の意義や将来の生き方を考えるなどキャリア教育に取り組みます。 ◆「将来の夢や目標を持っている」という生徒75%以上(H30 67%)
豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	支援教育・道徳教育・人権教育・生徒指導・生徒会活動	<p>すべての生徒の自立に向け、きめ細やかな支援を充実させるとともに、教室環境と授業のユニバーサルデザイン化を進めるなど「ともに学び、ともに育つ」インクルーシブ教育を推進する。</p> <p>いじめなどの人権侵害や差別・偏見を見抜き、許さない確かな人権意識と、自他の違いを認め互いを大切にする豊かな心を育むため、道徳教育と人権教育を充実させる。</p>	<p>○学級集団づくり、カウンセリング、生徒指導対応等の教職員研修を充実させ、教職員の生徒指導力を向上させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「担任の先生はより良い学級をめざして努力している」という生徒90%以上(H30 87%) ◆「先生はいじめや校内暴力など困っていることに対処してくれる」という生徒90%以上(H30 86%) ◆「先生は悩み事や困っていることに気軽に相談に乗ってくれる」という生徒85%以上(H30 83%) <p>○道徳の特別の教科化を見据えて、道徳教育推進教師を中心に、授業力の向上や評価について研修に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆道徳校内研修、ローテーション道徳を実施し、9月と1月に一斉道徳の授業公開を行います。 <p>○人権問題について、正しく学ぶ学習と人権意識を育む取組みを充実させます。そのために、教職員の人権教育研修を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生徒の人権意識を育むため、講演会や教材の企画を充実させ、学習を計画的に推進します。 ◆教職員の人権教育研修を2回以上実施します。 ◆「学校は人権や命を大切にしている」という生徒95%以上(H30 90%) <p>○生徒指導マニュアルやいじめ防止基本方針等生徒指導に関わる確認事項を共有し、組織的な生徒指導に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆登校指導や休み時間、昼休みの立ち番など生徒の生活の様子を、見守り、共有して、支援します。 ◆生徒指導部を中心に、きめこまやかな情報共有、機を逃さない対応をすすめます。 ◆スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、不登校支援員はじめ関係諸機関との連携により、チーム招提としての的確、迅速な対応、支援に取り組みます。 <p>○生徒会活動や学年、学級活動を充実させ、生徒自らが身の回りの問題に取り組み解決する経験を通じて、自尊感情や自己有用感を身につけることができるよう取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆あいさつ運動や「スマホ5か条」など、生徒が自分たちで考え企画する取組みをすすめます。 ◆「自分には良いところがある」生徒80%以上(H30 78%) ◆「学校の規則を守っている」生徒95%以上(H30 90%) ◆「学校に行くのが楽しい」生徒85%以上(H30 81%) ◆「生徒会活動に積極的に取組んでいる」生徒75%以上(H30 72%)
上	教職員の資質と指導力の向上	<p>研究授業（授業交流）の充実により、授業力を高め、生徒の学力を向上させます。</p> <p>校内研修の充実及び各種研修講座への積極的な参加により、指導力を向上させます。</p>	<p>○学力向上部を中心に、教科部会を核とした授業研究、学年授業交流、研究授業など、授業力向上に組織的に取組んで、授業力を向上させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「普段の授業では自分の考えを発表する機会が与えられている」という生徒90%以上(H30 89%) ◆「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている」という生徒90%以上(H30 89%) ◆「授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されている」という生徒95%以上(H30 92%) ◆「授業中、私語が少なく落ち着いて授業を行っている」という生徒75%以上(H30 45%) <p>○生徒指導や人権教育など課題に正対した校内研修を企画し実施するとともに、各種研修講座への参加を奨励し、教職員の指導力を向上させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆校内研修を充実させます。 ◆研修参加を奨励します。 ◆「先生は生徒の個性を大切にし、生徒のがんばりを認めてくれる」という生徒90%以上(H30 86%)
の構築	保護者地域との連携	<p>地域の子どもを育てる「地域の学校」として、地域への積極的な情報発信と、連携充実に取り組みます。</p>	<p>○自尊感情の向上や基本的な生活習慣獲得の意義について、学校便りや保護者会、懇談等により共通理解をはかり、家庭との連携を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「学校は子どもに社会のルールを守る態度を育てようとしている」という保護者90%以上(H30 88%) ◆「学校は子どもに火災・台風・地震など非常事態が起こった時の行動について指導している」という保護者95%以上(H30 95%) <p>○保護者、地域と「めざす子ども像」の共有を図り、地域行事やあいさつ運動など保護者、地域とともに生徒を育む取組みを充実させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「よくあいさつをしている」生徒85%以上(H30 82%) ◆「学校は他人の立場を理解し、思いやりのある子どもを育てようとしている」という保護者90%以上(H30 85%) ◆「学校は子どもに豊かな心を育てるとりくみを行っている」という保護者が85%以上(H30 77%) ◆スマートフォン・SNSの使用に関する啓発活動を地域・保護者と連携して推進し、校区・地域ぐるみの取組みを進めます。 <p>○保護者、地域への情報発信や学校公開の機会の充実により地域に開かれた学校づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「学校の様子、取組みが学校ホームページや保護者会、通信、たよりなどでよく知ることができる」という保護者が85%以上(H30 80%) ◆「学校は保護者や地域に開かれている」という保護者が95%以上(H30 92%)

上記のとおり、令和元（2019）年度 学校評価計画を作成しましたので、お知らせします。

今年度も、本校の教育活動について、ご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。不明の点がありましたら遠慮なく校長、教職員にお尋ねください。なお、指標となる%の数字は、12月に実施する学校教育自己診断アンケートの有効回答に占める肯定的回答の割合です。